

外部評価事前質問事項とその回答(総合振興計画審議会第5回会議)

委員名	部会	施策	区分	所管課	質問事項	回答	
2回目 質問							
1	野宗委員	安心部会	施策21「幼児教育の機会の支援」	取組内容の評価の妥当性	教育総務課	<p>施策指標「幼稚園就園奨励補助対象園児の割合」について、平成22年度「65.0%」から平成23年度「94.0%」に急増している要因は何かあるのか。</p> <p>評価表3「施策の取組内容の達成度」の事業費も平成23年度に減少しており、また評価表4「これまでの取組に関する施策全体の総合評価」に「平成23年度に幼稚園児保護者補助金を減額した」と記載がある。平成23年度に何か制度の変更などがあったと読めるが変更の内容はどのようなものか。また、これらの変更と幼稚園就園奨励補助対象園児の割合が上がったこととの関係性について教えてほしい。</p>	<p>施策指標としている「幼稚園就園奨励補助金」と評価表4に記載の「幼稚園児保護者補助金」は異なる補助金です。</p> <p>前者(幼稚園就園奨励補助金)は国庫補助金で、市民県税の額が基準となっており、所得の状況によって補助を受けられるかどうかが決まります。</p> <p>また、後者(幼稚園児保護者補助金)については、市の単独補助金で、所得の状況によって補助額は変わりますが、原則、申請した方は補助金を受けられます。平成23年度に変更した内容は、補助額の減額のみです。減額した背景としては、県内でも和光市の補助額が高かったため減額し、その結果、平成23年度決算額が減少しております。</p> <p>ご質問の施策指標「幼稚園就園奨励補助対象園児の割合」が平成23年度に「94%」に増加した要因についてということですが、記載の数値に誤りがありました。正しくは「69%」です。記載の誤りというのは、平成21年度及び22年度については、「幼稚園就園奨励補助金」の数値でしたが、平成23年度については「幼稚園児保護者補助金」の数値を記載しておりました。</p> <p>なお、施策指標としては、現在の施策指標のみではなく、「幼稚園児保護者補助対象園児の割合」についても、今後、補足指標として、進捗管理をしていきたいと考えております。</p>
2	荒木部会長	安心部会	施策21「幼児教育の機会の支援」	その他	教育総務課	<p>市在住の幼稚園児のうち、市内の幼稚園に通う園児と市外の幼稚園に通う園児の割合を教えてほしい。</p>	<p>【平成23年度】</p> <p>市内幼稚園通園49.3%</p> <p>市外幼稚園通園50.7%</p> <p>【平成24年度】</p> <p>市内幼稚園通園50.4%</p> <p>市外幼稚園通園49.6%</p>
3	荒木部会長	安心部会	施策21「幼児教育の機会の支援」	その他	教育総務課	<p>近隣自治体(朝霞市、志木市、新座市、練馬区、板橋区)で公立幼稚園がある自治体はあるか。</p>	<p>朝霞市、志木市及び新座市にはありません。</p> <p>板橋区に2園、練馬区に5園(うち2園は平成26年3月末に閉園予定)の区立幼稚園があります。</p>